



---

# リニア新時代に向けた 中京大都市圏づくり

平成26年11月12日

# I 平成39年度(2027年度) リニア中央新幹線が開業

◆ 東京(品川)ー名古屋を結ぶリニア中央新幹線の工事実施計画が、平成26年10月17日、国土交通大臣から認可され、平成39年度(2027年度)の開業に向け、いよいよ事業が本格的にスタート。



## リニア開業が愛知県に及ぼす影響

- ①首都圏と一体化した巨大都市圏の形成と西の拠点化
  - ・首都圏から中京圏に及ぶ人口5千万人規模の大交流圏形成。愛知県は西のゲートウェイ化
- ②交流・連携の活発化
  - ・ビジネス、観光など多様な交流・連携の増進
- ③他地域から見た本県の立地優位性の向上
  - ・二重の新幹線、三重の高速道路(東名・新東名・中央)で首都圏と結ばれ、地域が強靱化
- ④愛知県所在企業の活動における選択肢・可能性の拡大
  - ・時間短縮によるマーケットやビジネスチャンスの拡大
- ⑤県民生活における選択肢・可能性の拡大
  - ・リニア通勤や二地域居住などの拡大
- ⑥東海道新幹線の運用見直しによる沿線地域の活性化
  - ・「こだま」「ひかり」多頻度化による交流拡大

出典:「リニア中央新幹線対応検討調査 報告書」(愛知県、平成26年3月)

出典:リニア中央新幹線建設促進期成同盟会資料

## 着工までの流れ

基本計画の決定  
(昭和48年11月)

地形・地質等調査の指示  
(平成2年2月)

営業主体、建設主体の指名  
(平成23年5月)

整備計画の決定  
(平成23年5月)

建設の指示  
(平成23年5月)

工事実施計画の申請  
(平成26年8月)

国土交通大臣の認可  
(平成26年10月)

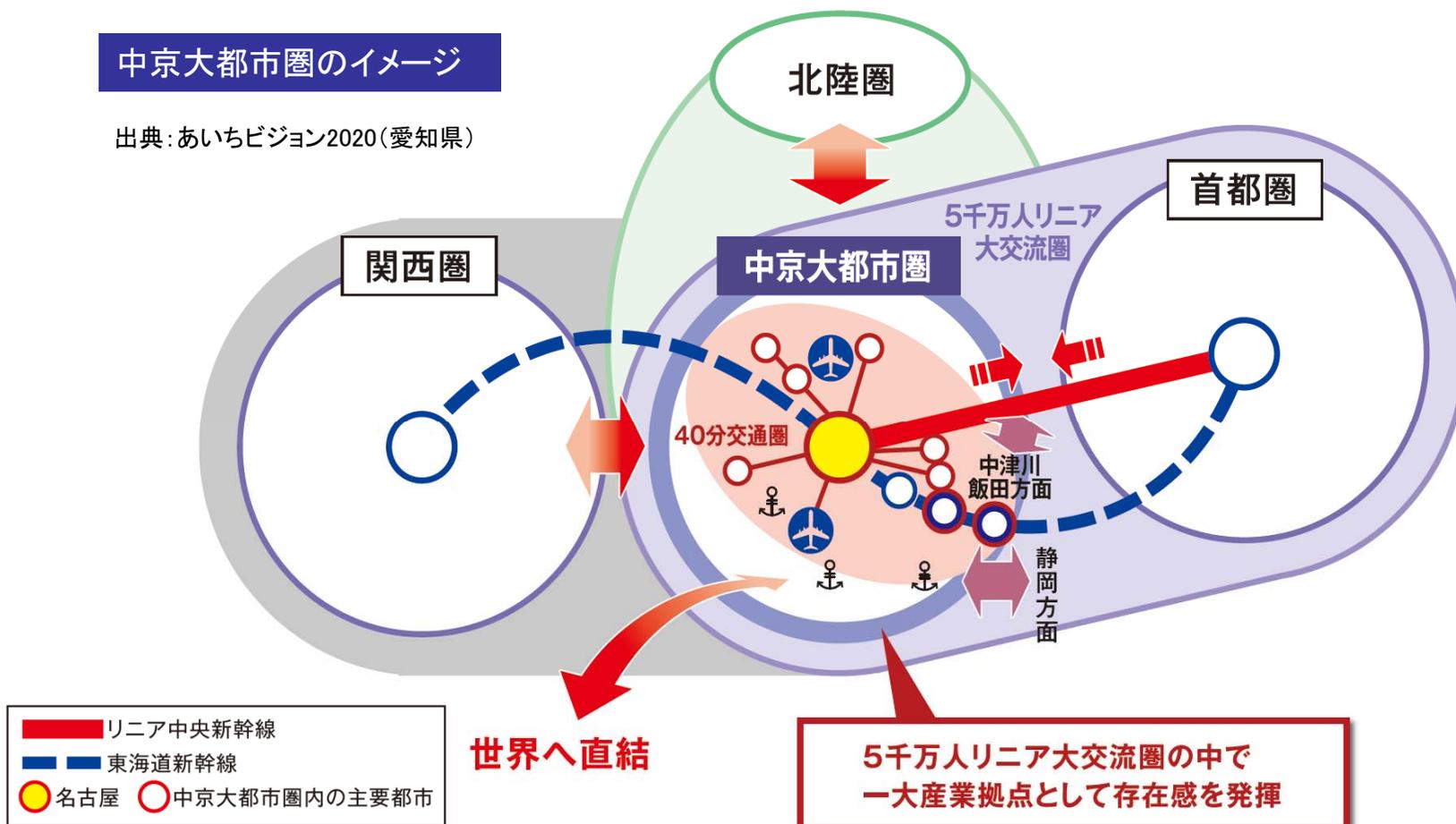
着工

## Ⅱ リニア開業インパクトを生かした中京大都市圏づくり

- ◆ 平成39年度(2027年度)のリニア中央新幹線の東京・品川ー名古屋間の開業により、首都圏から中京圏に及ぶ範囲で、人口5千万人規模の巨大な大交流圏が誕生。
- ◆ この大交流圏の西の拠点として、世界と直結する一大産業拠点としての役割を担っていくとともに、多様な魅力を発信しながら、国内外から人・モノ・カネ・情報を呼び込む存在感ある大都市圏をめざす。

### 中京大都市圏のイメージ

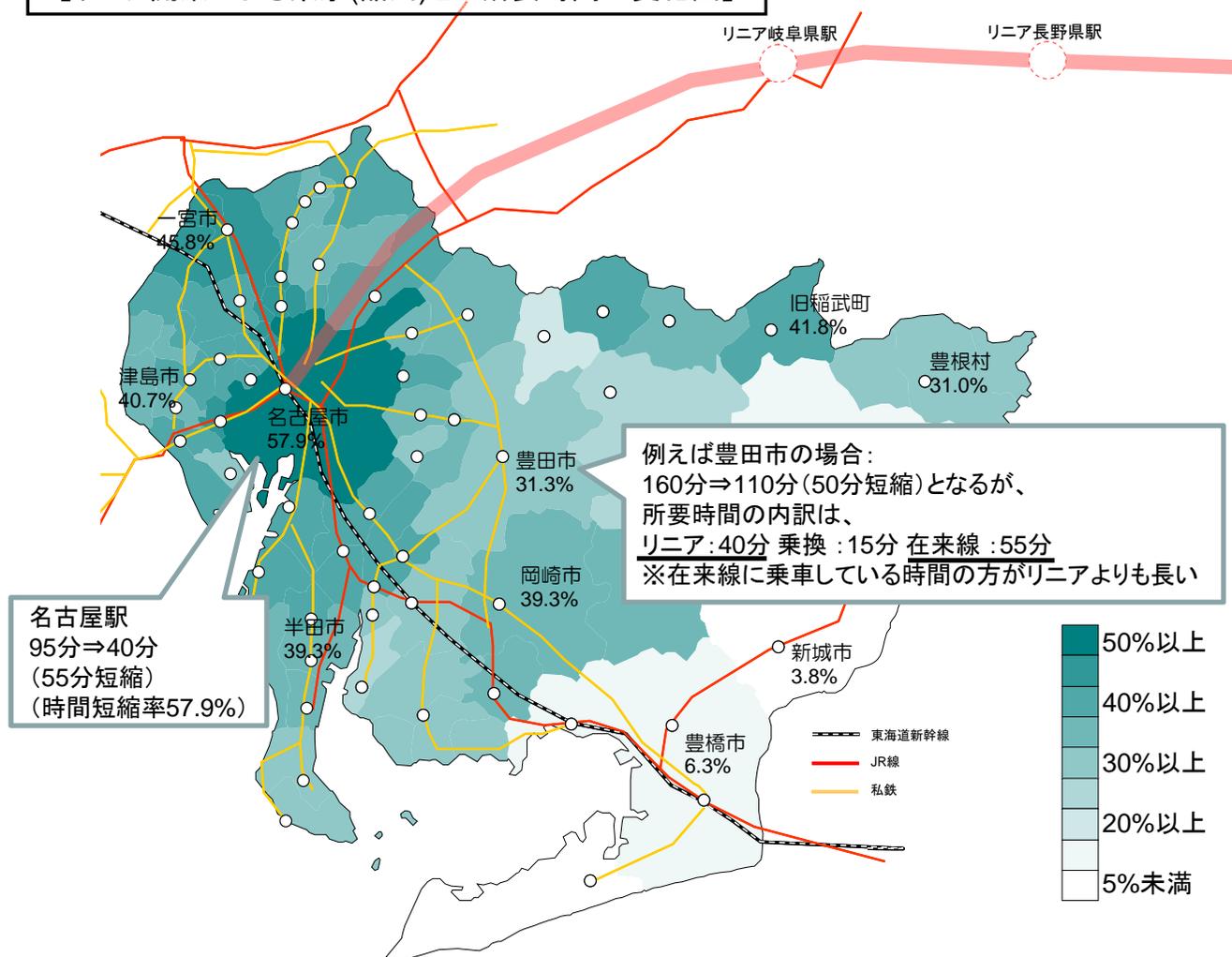
出典: あいちビジョン2020(愛知県)



# 取組1 鉄道ネットワークの充実・強化

◆ リニア開業による首都圏との時間距離の短縮効果を全県的に波及させていくため、既存鉄道路線の直通運転化・高速化などにより、名古屋都心部からの鉄道40分圏域の拡大をめざす。

【リニア開業による東京(品川)との所要時間の変化図】



## 愛知県の取組

「リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化に関する方策案」の策定

リニア中央新幹線の開業による時間短縮効果を県内全域に波及させ、最大限に活用するため、現在の鉄道ネットワークを再検証し、方策案を本年度内に取りまとめる。

### 【主要課題】

- 名古屋駅と県内拠点都市を結ぶ鉄道ネットワークの充実・強化(西三河地域)
- 中部国際空港アクセス利便性確保
- その他県内鉄道ネットワーク充実・強化

県内市町村と品川駅間の  
 所要時間の短縮率  
 (中間駅を考慮)



## 取組3 国際交流基盤の整備・機能強化①

◆ 人・モノ・カネ・情報の交流が活発な地域を形成するため、空の国際ゲートウェイを担う中部国際空港の充実・強化を図っていく。

### 中部国際空港の今後の路線展開

#### ■ 平成26年度エアポートセールスの成果

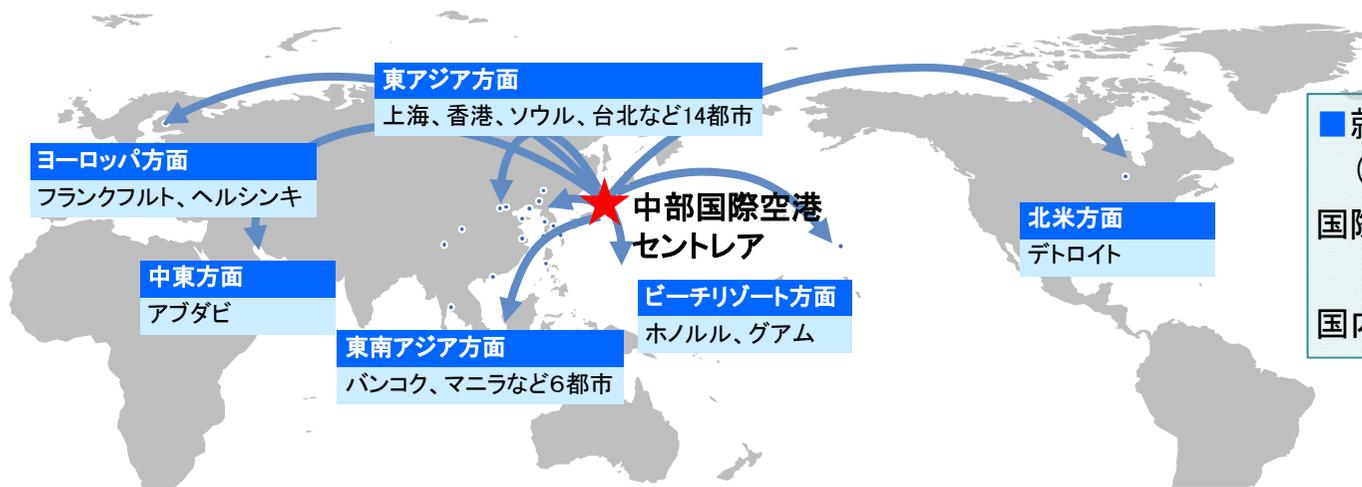
- ・ ガルーダ・インドネシア航空(ジャカルタ) → 27年3月から就航(週5便)
- ・ 上海吉祥航空(上海) → 27年前半までに就航を検討
- ・ タイ国際航空(バンコク) → 27年1月から増便(週14便)

#### ■ その他の就航予定 (国際線)

- ・ 12月20日 日本航空(バンコク: 週7便)
- フィリピン航空(セブ: 週3便)



ガルーダ・インドネシア航空への  
エアポートセールス(9月8日)



#### ■ 就航路線及び便数

(平成26年11月1日現在)

国際線：旅客便 26都市 280便/週  
貨物便 28便/週

国内線：旅客便 18都市 79便/日

訪日外国人200万人、貨物30万トンをめざす

⇒ **二本目滑走路(完全24時間化)の早期実現**

## 取組3 国際交流基盤の整備・機能強化②

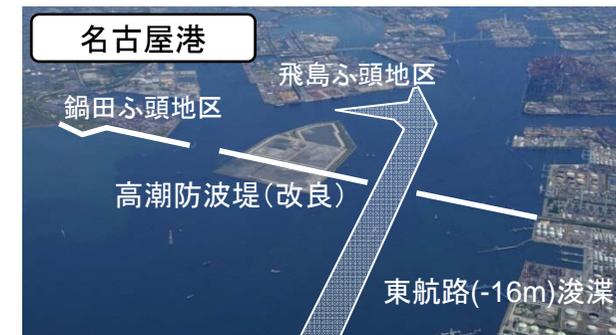
名古屋港をはじめ、三河港、衣浦港は、モノづくり中部と世界を結ぶ海のゲートウェイであり、今後も日本の経済と産業をリードする基盤として、コンテナ、バルク貨物、完成自動車などを円滑に取り扱えるよう機能強化を図る。

### 名古屋港の機能強化

国の指定を受けた国際バルク戦略港湾としての機能強化や、港湾運営の民営化などを進めるほか、新たな港湾計画を策定し、「国際産業ハブ港」を目指す

#### 【実施中】

- 東航路において、船舶の大型化に対応するため、航路浚渫を実施
- 高潮・津波、地震から物流と暮らしを守るため、高潮防波堤の改良を実施

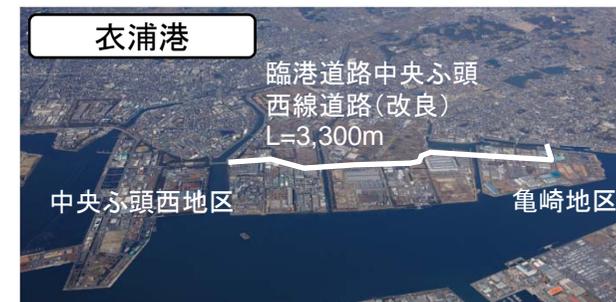


### 衣浦港の機能強化

知多及び西三河地域における物流・生産活動を支える工業港としての機能強化を図る

#### 【実施中】

- 中央ふ頭西地区から亀崎地区において、円滑な港湾物流機能の確保のため、臨港道路の改良を実施

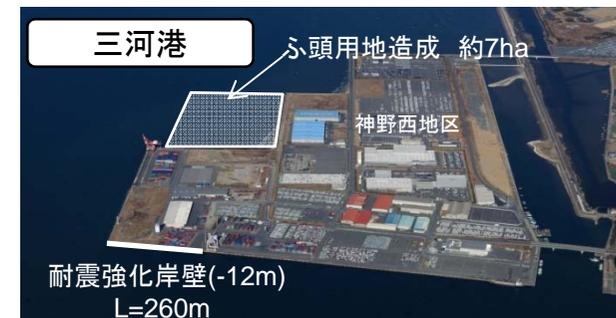


### 三河港の機能強化

完成自動車等の国際海上輸送のハブ港としての機能強化を図る

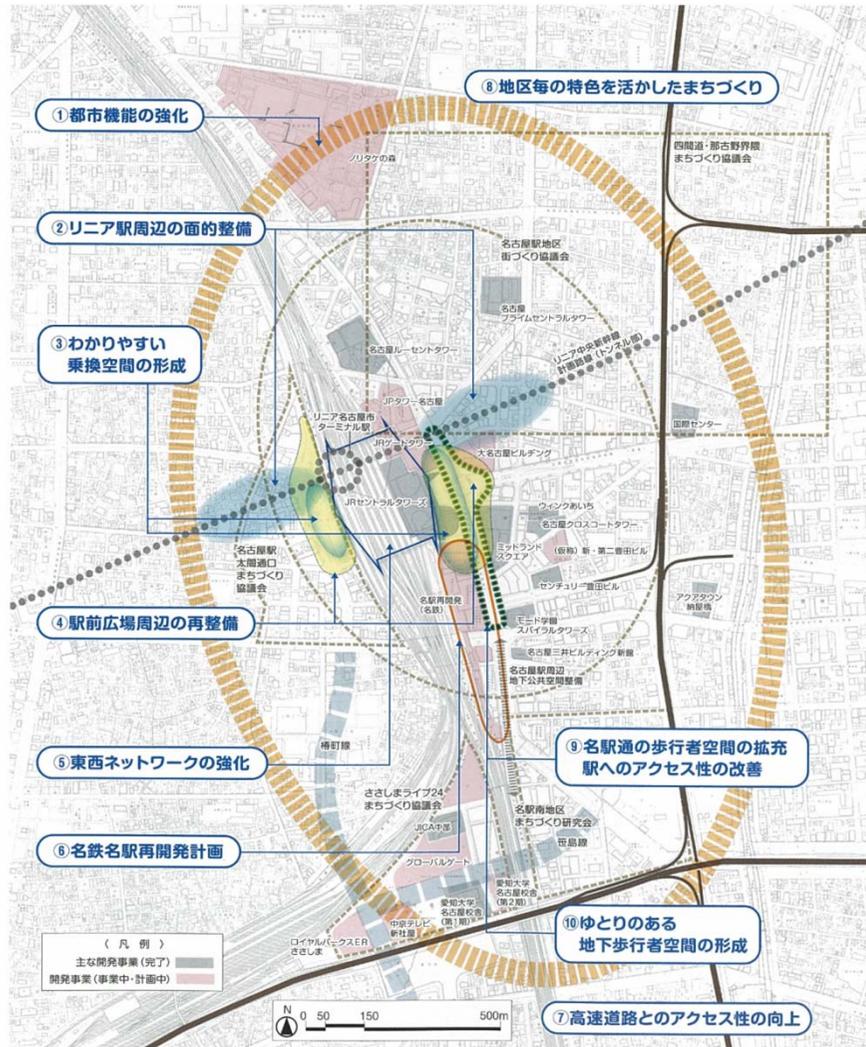
#### 【実施中】

- 神野西地区において、完成自動車を始めとする取扱い貨物の増大に対応するため、耐震強化岸壁及びふ頭用地の整備を実施



# 取組4 名古屋駅周辺まちづくり

- ◆ 多様な交通機関の乗換利便性を向上させるなど、名古屋駅のスーパーターミナル化に向けて、交通事業者や名古屋市などと連携し、地域一体となった取組を推進する。
- ◆ ビジネス・交流拠点に必要な都市機能の強化、高速道路とのアクセスの強化などの取組みを推進していく。



※「名古屋駅周辺まちづくり構想 概要版」(名古屋市 平成26年9月)  
主要プロジェクトのスケジュールイメージ抜粋

|                 | 平成26年度<br>(2014年度) | 平成32年度<br>(2020年度)      | 平成39年度<br>(2027年度) | (主な関係者)                             |
|-----------------|--------------------|-------------------------|--------------------|-------------------------------------|
| ①都市機能の強化        | インセンティブの検討         | 都市再生特別地区を活用した民間再開発      |                    | ・名古屋市<br>・国、愛知県<br>・開発事業者           |
| ②リニア駅周辺の面的整備    | 整備内容の検討            | 必要な手続<br>建物移転・土地整備・建物整備 | 駅部の用地取得等<br>整備     | ・名古屋市<br>・国、愛知県<br>・鉄道事業者<br>・開発事業者 |
| ③わかりやすい乗換空間の形成  | 整備内容の検討            | 整備計画の策定<br>必要な手続        | 設計・整備              | ・名古屋市<br>・国、愛知県<br>・鉄道事業者<br>・地下街会社 |
| ⑦高速道路とのアクセス性の向上 | 整備内容の検討            | 整備計画の策定<br>必要な手続        | 設計・整備              | ・名古屋市<br>・国、愛知県<br>・高速道路公社          |
|                 |                    | 樽町線、<br>笹島線の整備          | 笹島線(名駅南地区)の検討・整備   |                                     |

(前期) (後期)

(リニア開業後)

## 取組5 魅力の創造・発信①

- ◆ 文化芸術イベントやスポーツ大会、国際会議の開催などの育成・誘致に地域を挙げて取り組むほか、食文化やポップカルチャーなど新しい魅力も創造しながら、平成32年(2020年)の東京オリンピック開催などのシンボルイヤーを念頭に、愛知・名古屋の魅力を国内外へ発信していく。

### 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」の開催

世界最大の女子マラソン大会「名古屋ウィメンズマラソン」を中心とした「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」を盛り上げ、地域の魅力をPR。

- 開催時期：平成27年3月6日(金)～8日(日)  
(競技開催日は3月7日、8日)
- 種目：名古屋ウィメンズマラソン(フル)  
名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン(クォーター)  
名古屋シティマラソン(ハーフ、クォーター、チャレンジラン)
- 出場者数：約36,000人



### 「FIFAフットサルワールドカップ 2020」の招致

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催により、世界中の注目が日本に集まる中、FIFA(国際サッカー連盟)の強力なコンテンツである「FIFA フットサルワールドカップ 2020」を招致・開催し、全国・世界に向け、愛知を発信。

- 大会規模(想定)
- 試合会場：3～6箇所
- 参加チーム数：24チーム(6大陸サッカー連盟)
- 試合数：52試合

※日本サッカー協会が、愛知県を開催地とした日本への招致を決定。(10月9日)



## 取組5 魅力の創造・発信②

### 「なごやめし」の戦略的PR

「なごやめし」と総称される特徴的な食べ物が、マスコミ等に取り上げられ、認知度が高まる中、名古屋市と共同で「なごやめし」を紹介し、広くアピールをしていく。

○「なごやめしPR懇談会」の開催  
有識者等による懇談会を立ち上げ、なごやめしブランドを推進し、戦略的になごやめしをPRしていくための手法等について意見を得て、各種PR事業を行う。



○ミラノ国際博覧会において愛知県の魅力を発信  
ミラノ国際博覧会(平成27年開催予定)において「なごやめし」などのユニークな食文化を始めとする愛知県の多彩な魅力をアピール。

(なごやめしの例)



### 「愛知県フィルムコミッション協議会」

映画やドラマなどの撮影場所を観光資源としてPRすることで、県内外からの観光客誘致に取り組む。

○参画団体(設立順)

- ・日本ラインフィルムコミッション  
犬山ロケサーブিসチーム(犬山市観光協会)
- ・なごや・ロケーション・ナビ  
((公財)名古屋観光コンベンションビューロー)
- ・ほの国東三河ロケ応援団  
(愛知県東三河広域観光協議会)
- ・とよたフィルムコミッション(豊田市観光協会)  
※10月1日現在。今後参画団体を拡充予定。

### TBSテレビスペシャルドラマ 「LEADERS リーダーズ」



・ロケ地  
愛知県庁本庁舎

日本銀行名古屋支店として撮影。愛知県が撮影協力。

